

提出締切：2010年5月20日（木）

2009年度採択 研究推進プログラム「基盤研究」 研究成果報告書

研究代表者	所属機関・職名： 産業社会学部 教授 氏名： 小澤 亘
研究課題	DAISY を利用した共生社会を目指す新たな教育支援システムの開発研究

I. 研究計画の概要

研究の計画について、概要を記入ください。

DAISY とは、Digital Accessible Information System の略であり、文章・音声・画像を統合したテキスト作成の IT 基本規格である。そもそも、日本が中心になって推進してきた規格であるが、現在では、デージー・コンソーシアム（詳しくは、<http://www.daisy.org>を参照）という世界的 NGO によって、視覚・聴覚障害、弱視、LD（学習困難）とくに、ディスレクシア（読み書き困難）など、さまざまな障がいを乗り越える画期的な支援技術として世界に普及しつつある。

本研究の目的は、DAISY 規格の教材にもとづく学習支援が、(1)初等教育における LD 児童を含む全児童に対する国語教育、そして、(2)在日外国人児童の日本語・母国語教育および一般授業の補習教育など、特別支援教育の枠組みを越えた対象者に対して、高い効果を持つことを検証し、その具体的な利用方法や教育実践の在り方について検討し、DAISY を利用した共生社会を目指す新たな学習支援システムを開発・提起することにある。

具体的には、京都市御室小学校をフィールドとして、一般クラスおよび放課後学び教室において、DAISY 教科書の利用を推進し、学校全体による DAISY 教科書利用の有効性を実証すること、さらに 滋賀県湖南市にあるアジア・ブラジル学園をフィールドとして、日系ブラジル人児童向けの DAISY テキストを開発することを目指した。

II. 研究成果の概要

研究成果について、概要を記入ください。

2009年5月30日には、河村宏氏（国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所特別研究員、DAISY コンソーシアム会長、支援技術開発機構（ATDO）副理事長）を招聘し、公開研究会『多文化共生に向けた DAISY テキストの可能性』を開催。8月22・23日には、濱田麻邑氏（ATDO研究員）による『多文化共生に向けた DAISY テキスト作成研修会』を開催。立命館大学 DAISY 研究会を立ち上げるにいたった。

このような研究体制の基盤整備にもとづき、御室小学校においては、「放課後学び教室」で DAISY 教科書による LD 児童の指導を推進・実施した。2010年2月25日には、御室小学校全教員を対象として、河村氏・濱田氏、そして、日本リハビリテーション協会情報センター長野村美佐子氏を招聘した DAISY 研修会を実施した。そうした準備を基盤として、3月9日には、4年生一般クラスで、DAISY 教科書を使用した公開授業を実施した。

アジア・ブラジル学園においては、中澤ローザ先生と協同して、『大きな夢』と題するポルトガル語・日本語併用の DAISY 絵本を作成。その他、理科教科書、算数教科書、アルファベット学習用テキストなどのデジタル教材を試作し、関係者・問い合わせ者には、研究会報告・DVD 無料配布によって情報提供を行った。

本ページはホームページに公開いたします。1ページに収めてください。